

# 蘇陽町

# 文化財

## 第一集

昭和59年3月

蘇陽町教育委員会  
蘇陽町文化財保護委員会





蘇陽町の  
文化財

— 第一集 —

蘇陽町教育委員会  
蘇陽町文化財保護委員会



## 序

蘇陽町におきましては多年の懸案でありました文化財資料集を関係者各位の多大の御労苦により刊行することとなりました。

私たちの郷土ふるさとのすぐれた美しく自然と先人がたゆまない精進によって築きあげ私たちに残してくれた文化遺産をまもり、後世に伝えることは私共のつとめであります。今回の刊行によりましてこれらのことについて町民各位の御理解が深まり、文化財に更に一層の愛護の実があがることを期待いたします。

蘇陽町教育長 藤 田 光

## 正 誤 表

下記のような誤りがありますので、訂正の上ご使用下さい。

頁	行 目	誤	正
目次		水道院大神の板碑(二瀬本) … 12	水道院大神の板碑(二瀬本) … 15
18	上段 1	建造物 菅原市兵衛の墓 (二基)	建造物 菅尾市兵衛の墓 (二基)
37	下段 14	「龍下の観音さん」	「滝下の観音さん」
49	鎌倉時代 左・下から 3	正元1250-1260	正元1259-1260
51	江戸時代 中・上から 13	天和1681-1694	天和1681-1684



私達の町には、数多い祖先からの尊い遺産とも云うべき文化財が残され、それ等には色々あり、各地区の堂さんには、お大師さんや地藏さん、又路上、辻には道しるべの石碑（道標）等、気をつけて自分の村を眺めてみると、必ずいくつか実在しています。これ等は、皆んな、私共の遠い祖先の方々が、何等かの祈りと願いをこめて祭り又あるときは、きっと心のよりどころとして尊び大事にして世代くへ語り伝えてくれた人間生活上の尊い遺産と云へると思います。これ等を後世に残し伝へ行くのも又現在の私達の責務でもあります。

此の偉大なる祖先の遺志を将来に残し伝へるために、私共、文化財保護委員は、一昨年より町内くまなく調査したつもりですが、何分も広域に亘る本町内のことにて、或は調査洩れ、又誤記等もあるうかもしれませんが、その点は悪しからず御寛容戴き、又お気付きの点ありましたら御教示下されれば幸いです。そうした洩れや現在調査中のものの発見につきましては、今後の第二集、第三集に登載したいと思ひ、此処に「第一集」として発行するはこびとなつた次第であります。各界の御参考になれば幸甚であります。

蘇陽町文化財保護委員

- |       |       |      |       |        |
|-------|-------|------|-------|--------|
| 佐藤 幸孝 | 片倉 義美 | 佐藤 忍 | 森田 惟男 | 長谷野 官藏 |
| 〃     | 〃     | 〃    | 〃     | 〃      |

目 次

馬見原町(馬見原)	1
菅尾手永会所跡(菅尾)	2
椀山番所跡(椀山)	2
滝上番所跡(滝上)	2
目鑑橋(滝上)	3
〃(下山)	3
上古代史の里	3
鏡山(馬見原)	4
服掛松(長崎)	5
岩風呂の跡(高畑)	5
〃(今)	5
川風呂の跡(椀山)	5
〃(下長崎)	6
古代住居の跡(高畑・玉目・今)	6
虎御前の森(長谷)	7
高仏(今)	7
処刑場の跡(高辻・高畑)	7
六地藏(二瀬本・下山・馬見原)	8
経塚(大迫)	9
花立原(玉目)	9
宝塔(高畑)	9
板碑(高辻)	11
無縫塔(元柏)	11
円墳(倉木山)	11
〃(塩原)	12
坂本氏の墓(須刈)	12

文中  
□かこみは判読出来ないもの。

水道院大神の板碑(二瀬本)	12
経石(塩出迫)	12
鱈口(玉目)	12
赤立(高畑)	13
里教木(柳・東竹原)	13
日向泊(東竹原)	14
宿ノ谷(玉目)	14
五輪坊(大見口)	14
火伏地藏秋葉神社(二瀬本)	14
白石鐘乳洞(白石)	15
天満宮の由来について	15
菅原妙見神社(柳井原)	16
天満堂(全域)	17
菅尾市兵衛の墓(菅尾)	18
今村山城守の墓(米山)	18
佐藤清左衛門尉忠重一族の墓(柳)	18
奥栢左京の墓(高辻)	19
芹口山城守の墓(高畑)	19
甲斐萬太兵衛の墓(高畑)	20
甲斐親重の墓(高畑)	20
梶原之墓(梶原)	20
玉目丹後守の墓(玉目)	20
今村氏族の墓(今)	21
猿丸太夫の墓(猿丸)	21
観音・弘法・地藏(全域)	22
宝塔(岩尾野)	43
仏閣(全域)	45
日本元号西暦対照表	48